

## 「想いは招く」

校長 安藤 徹



7月7日は七夕です。織姫と彦星が天の川で1年に1度だけ会うことができるという話を聞いたことがあります。また、願い事を短冊に書いて笹竹に飾る風習も広く親しまれています。

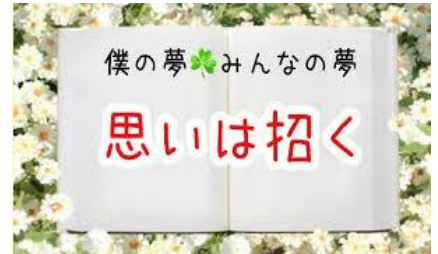


それではみなさんは、「流れ星に3回願いをかければ願いが叶（かな）う」という話は聞いたことがありますか。これにはこんな言い伝えがあります。それは「空には神様がいて、時々下界の様子を確認するために、こちらをそっとのぞく時にもれる光が流れ星。だから、その時に願いごとを口にすれば、その声はきっと神様に届き、願い事が叶う」というのです。

そこで今回はこの流れ星伝説にちなんで、私が考える「願いが叶う方法」をお話します。その中では「想いは招く」という素敵な言葉がキーワードです。

「想いは招く」という言葉は、夢を実現するには「願いを強く持ち続けることが大切」ということを表しています。

流れ星を見つけたその一瞬に、願う言葉が言えるくらいいつも強く心に思い続けるのです。「なんとなく散歩していたら、富士山の山頂にたてた！」は、絶対にありえないですよ。散歩は散歩のままで目的が違います。しかし、「私は富士山の山頂に立ちたい」「絶対に登頂するんだ！」と宣言すれば、「どうしたら登れるか、自分で考え努力を重ねるんじゃないでしょうか」これが「想いは招く」という言葉のすごさです。



自分は「こうなりたい」と、強く願いを持つことが大切です。そしてその願いは「〇〇になりたい」等、具体的なほうがいいのです。思い続けることが、日々努力していく姿勢になり夢の実現につながります。時には「〇〇したい」という願いを、さらに一歩踏み出して「絶対〇〇する、〇〇になる」という断定調で表現してみるのもいいでしょう。「想うは招く」とは、そういう言葉です。

二つ目は、「願いを言葉にして口に出すこと」です。「叶う」という漢字は、「口」に「十」と書きます。言葉にして何度も何度も口に出すと、いいことが起こります。例えば、普段からやりたいことを口にするのを習慣にしていると、周りの人も聞いてくれますが、誰よりも自分自身がその言葉を繰り返し耳にします。すると、どうなるか。自分自身で「私はこれをやりたいんだ！」と自分の夢を強く意識するようになります。実はこれが夢の実現には一番必要なことなのです。

さあ、これから暑い夏がやってきます。コロナ禍は続いています。特にこの夏は、自分の想いや言葉を大切に生活してみてください。「どうせ無理・・・」等、後ろ向きの言葉は言わないようにしてみましょう。「心を入れ替えて」頑張るといいますが、「言葉を入れ替えて」に変えて頑張ってみてください。そして「こんな自分になる」と強く願い、努力してみてください。この夏を乗り越え、たくましく成長したみなさんに会えることを楽しみにしています。「想いは招く」です。

令和4年7月1日